



「再稼働の是非は私たち県民が決めた」と県庁前でアピール！

花角知事は公約を守って県民に信を問え！

県議会の同意のみで柏崎刈羽原発再稼働に突き進もうとする緊迫した情勢です

***新潟県民が求めているものは、お金ではなく安全なくらしです。「再稼働の是非は県民に信を問う」を最後まで貫くよう、花角知事に求めます。**
〔県議会〕を「県民」とは言いません

資源エネルギー庁、内閣府、原子力規制庁、東京電力を参考人招致した県議会連合委員会が10月16日に開かれ、県内各地から多くの人が傍聴につめかけました。

午前中は参考人による説明。原発の必要性と避難時の対応を述べ、「再稼働は不可欠」と繰り返しました。また、再稼働をすればメリットの還元もできるとお金で再稼働への同意を求めめるような方策をあれこれ述べていました。

午後からは県議会各党派との質疑応答。自民党など再稼働容認の党派は、主に避難路整備や地域経済活性化への資金拠出などを確認。野党各党派からは避難における被ばく、核廃棄物の危険性、特重施設完成後に議論すべき、東電の適格性、議会軽視の問題など様々な問題点が指摘されました。



「避難路もテロ対策特重施設もできてなくても、計画さえすれば再稼働するなんて、おかしくない？」(傍聴者の声より)

【参考人の説明を聞き】

◆動かさなきゃいいことではないの？ ◆時間のムダ
◆屋内避難下、雪下ろしが必要な時はやってもいい、生活必需品がなくなったら買いに行ってもいいなんて、放射能に汚染されても構わないということ？ 無責任な都合主義の説明 ◆莫大なお金をかけてあれこれ実効性のない対策をするより、再エネの普及に回せば、多くのエネルギー問題を解決できると思っただ。

【質疑応答を聞き】

◆お金で再稼働を認めさせようなんて、県民をバカにしている ◆大体そのお金はどこから出すのか ◆「再稼働に不安な思いの人が多いよ」なので、いねいな説明をします」と言っ、金に糸目をつけず新聞広告やチラシをどんどん出しているが、原発のことをよく知っているの不安なのだから、やめてほしい ◆東電の福島事故の責任の取り方は、原発から撤退し再エネ会社になることでは？

★自民党県議団は県議会での確認を促す決議を提出し、柏崎商議所や新潟経済同友会は要望(書)を出すなどして、県民の意思確認は「県議会の議論で」と迫っています。
決めるのは私たち県民です！

昨年県民投票条例制定運動に取り組んだ「柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める会」を発展的に受け継いだ「柏崎刈羽原発再稼働の是非を考える新潟県民ネットワーク」10月4日に設立され、始動！
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

異次元の危険性を持つ原発がひとたび過酷事故を起こしたら、一人一人のいのちもくらしもふるさととも奪われてしまうかもしれません。原発再稼働の是非は県民が決めるよう求め、つながり合って運動していきましょう。☆☆☆☆☆

地域経済のために再稼働が必要—ほんとうでしょうか？
原発再稼働圧力が強まっている今だからこそ、みんなで集まり学び考えましょう！

ゼロネット結成14周年記念講演
「原発と地域経済」
お話 藤堂史明さん
11月15日(土) 13:30~
長岡市立中央図書館 講堂



11月のアオーレ前宣伝行動は11月11日(火) 16時~16時30分 ぜひご参加を！